

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正			
地区別評価結果			
1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)			
整理番号 20-1			
期中の評価個表			
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S38～H119(最長140年間)
事業実施地区名	江の川広域流域 30～49年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター
事業の概要・目的	<p>当事業は、降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い江の川広域流域内の島根県安来市外13市町の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、新植・下刈・除伐・保育間伐など森林整備のための費用負担及び適切な間伐の推進など事業実行に関する技術指導を行い、水源林を造成するものである。</p> <p>・主な事業内容：契約件数 734件、事業対象区域面積 17,889ha ・総事業費： 69,889,142千円</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化等	<p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、水源涵養便益であり、植栽や保育により森林を造成し、洪水防止、流域貯水、水質浄化に寄与する効果である。また、山地保全便益については、森林を造成し土砂流出や山腹崩壊等の防止に寄与する効果である。</p> <p>現時点における30年経過分の造林地の費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">総便益 (B) 5,593,439千円 総費用 (C) 3,208,431千円 分析結果 (B/C) <u>1.74</u></p>		
② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>当該流域が属する島根県及び広島県における私有林の未立木地面積は、昭和45年の15,714haから昭和55年の25,433haと大幅に増加しており、それ以降は減少傾向にあるが、平成19年には19,853haとなっており、引き続き森林造成が必要である。</p> <p>また、これらの県における私有林の不在村者所有森林面積は、昭和45年の81,419haから平成17年の141,914haと増加傾向にあり、林業就業者は、昭和55年の5,857人から平成22年の2,957人と減少し、平成22年の65歳以上の割合は13%と高齢化も進行している。さらに、木材生産額は、昭和46年の20,013百万円から平成22年の2,810百万円と減少している。これらのことから、地域の森林の管理水準の低下が危惧される。</p> <p>こうした中、水源林造成事業については、水源涵養機能等の向上を図りながら、その実施を通じ、地域の雇用にも貢献してきたところ。また、事業地が間伐期を迎える中、路網の整備による搬出間伐にも努め、地域の木材供給にも貢献できるよう取り組むこととしている。</p>		
③ 事業の進捗状況	<p>30年経過分の造林地の植栽木の生育状況(注1)は、ヒノキ28年生で樹高14m、胸高直径21cm、1ha当たり材積232m³となっており、概ね順調な生育状況である。</p> <p>なお、雪害等によって広葉樹林化した林分の占める割合は、植栽面積の10%である。</p> <p>(注1)材齢別の生育状況を材齢別面積で加重平均したものを。</p>		

誤			
地区別評価結果			
1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)			
整理番号 20-1			
期中の評価個表			
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S38～H119(最長140年間)
事業実施地区名	江の川広域流域 30～49年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター
事業の概要・目的	<p>当事業は、降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い江の川広域流域内の島根県安来市外13市町の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、新植・下刈・除伐・保育間伐など森林整備のための費用負担及び適切な間伐の推進など事業実行に関する技術指導を行い、水源林を造成するものである。</p> <p>・主な事業内容：契約件数 734件、事業対象区域面積 17,889ha ・総事業費： 69,889,142千円</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化等	<p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、水源涵養便益であり、植栽や保育により森林を造成し、洪水防止、流域貯水、水質浄化に寄与する効果である。また、山地保全便益については、森林を造成し土砂流出や山腹崩壊等の防止に寄与する効果である。</p> <p>現時点における30年経過分の造林地の費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">総便益 (B) 5,604,445千円 総費用 (C) 3,208,431千円 分析結果 (B/C) <u>1.75</u></p>		
② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>当該流域が属する島根県及び広島県における私有林の未立木地面積は、昭和45年の15,714haから昭和55年の25,433haと大幅に増加しており、それ以降は減少傾向にあるが、平成19年には19,853haとなっており、引き続き森林造成が必要である。</p> <p>また、これらの県における私有林の不在村者所有森林面積は、昭和45年の81,419haから平成17年の141,914haと増加傾向にあり、林業就業者は、昭和55年の5,857人から平成22年の2,957人と減少し、平成22年の65歳以上の割合は13%と高齢化も進行している。さらに、木材生産額は、昭和46年の20,013百万円から平成22年の2,810百万円と減少している。これらのことから、地域の森林の管理水準の低下が危惧される。</p> <p>こうした中、水源林造成事業については、水源涵養機能等の向上を図りながら、その実施を通じ、地域の雇用にも貢献してきたところ。また、事業地が間伐期を迎える中、路網の整備による搬出間伐にも努め、地域の木材供給にも貢献できるよう取り組むこととしている。</p>		
③ 事業の進捗状況	<p>30年経過分の造林地の植栽木の生育状況(注1)は、ヒノキ28年生で樹高14m、胸高直径21cm、1ha当たり材積232m³となっており、概ね順調な生育状況である。</p> <p>なお、雪害等によって広葉樹林化した林分の占める割合は、植栽面積の10%である。</p> <p>(注1)材齢別の生育状況を材齢別面積で加重平均したものを。</p>		

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正	誤																								
<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)</p> <p style="text-align: right;">整理番号 20-2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">④ 関連事業の整備状況</td> <td>当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向</td> <td>植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 事業コスト縮減等の可能性</td> <td>費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 代替案の実現可能性</td> <td>該当なし。</td> </tr> <tr> <td>第三者委員会の意見</td> <td>植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。</td> </tr> <tr> <td>評価結果及び事業の実施方針</td> <td>・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続</td> </tr> </table>	④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。	⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。	⑥ 事業コスト縮減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。	⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。	第三者委員会の意見	植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。	評価結果及び事業の実施方針	・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続	<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)</p> <p style="text-align: right;">整理番号 20-2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">④ 関連事業の整備状況</td> <td>当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向</td> <td>植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 事業コスト縮減等の可能性</td> <td>費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 代替案の実現可能性</td> <td>該当なし。</td> </tr> <tr> <td>第三者委員会の意見</td> <td>植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。</td> </tr> <tr> <td>評価結果及び事業の実施方針</td> <td>・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続</td> </tr> </table>	④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。	⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。	⑥ 事業コスト縮減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。	⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。	第三者委員会の意見	植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。	評価結果及び事業の実施方針	・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続
④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。																								
⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。																								
⑥ 事業コスト縮減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。																								
⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。																								
第三者委員会の意見	植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。																								
評価結果及び事業の実施方針	・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続																								
④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する島根県及び広島県では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【島根県：新たな農林水産業・農山漁村活性化計画[第2期戦略プラン] (平成24年4月)】 「森林情報の整備・共有・活用並びに、森林所有者の合意形成の促進による、永続的な森林経営の仕組みづくり」、「森林経営計画の作成促進によるさらなる木材生産回地化の推進」、「荒廃した保安林内で本数調整伐(間伐)、樹下植栽等の森林整備により減災対策を推進」 【広島県：2020広島県農林水産業チャレンジプラン (平成22年12月)】 「森林資源保全活用の計画策定の推進」、「森林経営計画に基づく人工林の適正な管理」、「計画的な林業の推進」 こうした中で水源林造成事業地では、関係県の森林・林業施策との連携を図りつつ、計画的な間伐や路網整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。																								
⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。																								
⑥ 事業コスト縮減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策に変更している。 また、間伐の実施に当たっては、契約相手方(造林地所有者、造林者)の理解を得るなかで間伐木の選木及び間伐手法を工夫(列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等)することによりコスト縮減に努めることとしている。																								
⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。																								
第三者委員会の意見	植栽木の生育が順調な林分については、費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。 ただし、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、当分の間必要最小限の保育等にとどめることとする。																								
評価結果及び事業の実施方針	・必要性：降水量が少なく、脆弱な地質の山地が多い本流域の奥地条件不利地域等において健全な森林の育成に向け適切な間伐などの取り組みが計画的に行われてきており、引き続き水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果の他、植栽後、雪害等によって、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更するなど事業の実施に当たりコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：植栽地は概ね順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮している上、地域雇用への貢献や木材供給といった効果もあり、事業の有効性が認められる。 事業の実施方針：一部の林分について施策方法を見直しのうえ、継続																								

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正		誤	
地区別評価結果		地区別評価結果	
1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)		1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (20)江の川流域30～49年経過分(評価書)	
様式1		様式1	
便益集計表 (森林整備事業)		便益集計表 (森林整備事業)	
事業名：水源林造成事業 施行箇所：江の川広域流域 30年経過契約地 (単位：千円)		事業名：水源林造成事業 施行箇所：江の川広域流域 30年経過契約地 (単位：千円)	
大区分	中区分	評価額	備考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,389,360	
	流域貯水便益	513,441	
	水質浄化便益	1,228,989	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,981,184	
	土砂崩壊防止便益	2,558	
環境保全便益	炭素固定便益	426,794	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	51,113	
総便益 (B)		5,593,439	
総費用 (C)		3,208,431	千円
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{5,593,439}{3,208,431}$	$= 1.74$
様式1		様式1	
便益集計表 (森林整備事業)		便益集計表 (森林整備事業)	
事業名：水源林造成事業 施行箇所：江の川広域流域 30年経過契約地 (単位：千円)		事業名：水源林造成事業 施行箇所：江の川広域流域 30年経過契約地 (単位：千円)	
大区分	中区分	評価額	備考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,389,360	
	流域貯水便益	513,441	
	水質浄化便益	1,218,068	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,981,184	
	土砂崩壊防止便益	2,558	
環境保全便益	炭素固定便益	426,794	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	73,040	
総便益 (B)		5,604,445	
総費用 (C)		3,208,431	千円
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{5,604,445}{3,208,431}$	$= 1.75$

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益
水質浄化便益
事業効果区域

1,228,989

$$B = \sum_{t=1}^{T-1} \frac{t}{T \times (1+i)^t} + \sum_{t=T}^Y \frac{1}{(1+i)^t} \times \frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy} \times (D2-D1) \times A \times P \times u \times 10$$

u = $\frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy}$

Qx: 全貯留量のうち生活用水使用相当量 155.00 億

Qy: 全貯留量 - Qx 1,707.30 億

A: 事業対象区域面積 (ha) 308.38 ~ 308.38

P: 年間平均降雨量 (mm/年) 1.675
出典: 気象統計情報(気象庁)

T: 事業実施後、貯留率が安定するのに必要な年数 15

D1: 事業実施前の貯留率 0.51
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

D2: 事業実施後、1年経過後の貯留率 0.56
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

Ux: 単位当たりの上水道給水原価 (円/m³) 176.35
出典: 「日本の水資源」

Uy: 単位当たりの雨水浄化費 (円/m³) 68.60
出典: 「地球環境・人間生活にかかると森林の多面的な機能に関する調査研究報告書」(三菱総合研究所H13.11「雨水利用ハンドブック」)

u: 単位当たりの水質浄化費 (Ux と Uy を用いて Q x と Q y で比例配分して算出) 77.57

Y: 評価期間 80

10: 単位合わせのための調整値

年度	社会的割引率	事業対象区域面積	事業効果区域面積	効果額	現在価値化
1981	3.3731				
1982	3.2434	308.38	20.56	1.324	4.233
1983	3.1187	308.38	41.12	2.671	8.330
1984	2.9987	308.38	61.68	4.007	12.016
1985	2.8834	308.38	82.23	5.342	15.403
1986	2.7725	308.38	102.79	6.678	18.515
1987	2.6658	308.38	123.35	8.013	21.361
1988	2.5633	308.38	143.91	9.349	23.964
1989	2.4647	308.38	164.47	10.684	26.333
1990	2.3699	308.38	185.03	12.020	28.488
1991	2.2788	308.38	205.59	13.356	30.438
1992	2.1911	308.38	226.15	14.691	32.188
1993	2.1068	308.38	246.70	16.026	33.764
1994	2.0258	308.38	267.26	17.362	35.172
1995	1.9478	308.38	287.82	18.697	36.420
1996	1.8730	308.38	308.38	20.033	37.522
1997	1.8009	308.38	308.38	20.033	36.077
1998	1.7317	308.38	308.38	20.033	34.661
1999	1.6651	308.38	308.38	20.033	33.257
2000	1.6010	308.38	308.38	20.033	32.074
2001	1.5395	308.38	308.38	20.033	30.841
2002	1.4802	308.38	308.38	20.033	29.653
2003	1.4233	308.38	308.38	20.033	28.513
2004	1.3686	308.38	308.38	20.033	27.417
2005	1.3159	308.38	308.38	20.033	26.361
2006	1.2653	308.38	308.38	20.033	25.348
2007	1.2167	308.38	308.38	20.033	24.374
2008	1.1699	308.38	308.38	20.033	23.437
2009	1.1249	308.38	308.38	20.033	22.535
2010	1.0816	308.38	308.38	20.033	21.668
2011	1.0400	308.38	308.38	20.033	20.834
2012	1.0000	308.38	308.38	20.033	20.033
2013	0.9615	308.38	308.38	20.033	19.262
2014	0.9246	308.38	308.38	20.033	18.523
2015	0.8890	308.38	308.38	20.033	17.809

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益
水質浄化便益
事業効果区域

1,218,058

$$B = \sum_{t=1}^{T-1} \frac{t}{T \times (1+i)^t} + \sum_{t=T}^Y \frac{1}{(1+i)^t} \times \frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy} \times (D2-D1) \times A \times P \times u \times 10$$

u = $\frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy}$

Qx: 全貯留量のうち生活用水使用相当量 155.00 億

Qy: 全貯留量 - Qx 1,862.30 億

A: 事業対象区域面積 (ha) 308.38 ~ 308.38

P: 年間平均降雨量 (mm/年) 1.675
出典: 気象統計情報(気象庁)

T: 事業実施後、貯留率が安定するのに必要な年数 15

D1: 事業実施前の貯留率 0.51
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

D2: 事業実施後、1年経過後の貯留率 0.56
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

Ux: 単位当たりの上水道給水原価 (円/m³) 176.35
出典: 「日本の水資源」

Uy: 単位当たりの雨水浄化費 (円/m³) 68.60
出典: 「地球環境・人間生活にかかると森林の多面的な機能に関する調査研究報告書」(三菱総合研究所H13.11「雨水利用ハンドブック」)

u: 単位当たりの水質浄化費 (Ux と Uy を用いて Q x と Q y で比例配分して算出) 76.88

Y: 評価期間 80

10: 単位合わせのための調整値

年度	社会的割引率	事業対象区域面積	事業効果区域面積	効果額	現在価値化
1981	3.3731				
1982	3.2434	308.38	20.56	1.324	4.234
1983	3.1187	308.38	41.12	2.647	8.255
1984	2.9987	308.38	61.68	3.971	11.908
1985	2.8834	308.38	82.23	5.295	15.248
1986	2.7725	308.38	102.79	6.618	18.348
1987	2.6658	308.38	123.35	7.942	21.172
1988	2.5633	308.38	143.91	9.266	23.752
1989	2.4647	308.38	164.47	10.589	26.099
1990	2.3699	308.38	185.03	11.913	28.243
1991	2.2788	308.38	205.59	13.238	30.162
1992	2.1911	308.38	226.15	14.560	31.902
1993	2.1068	308.38	246.70	15.884	33.464
1994	2.0258	308.38	267.26	17.207	34.858
1995	1.9478	308.38	287.82	18.531	36.097
1996	1.8730	308.38	308.38	19.855	37.186
1997	1.8009	308.38	308.38	19.855	35.757
1998	1.7317	308.38	308.38	19.855	34.384
1999	1.6651	308.38	308.38	19.855	33.061
2000	1.6010	308.38	308.38	19.855	31.788
2001	1.5395	308.38	308.38	19.855	30.567
2002	1.4802	308.38	308.38	19.855	29.389
2003	1.4233	308.38	308.38	19.855	28.260
2004	1.3686	308.38	308.38	19.855	27.174
2005	1.3159	308.38	308.38	19.855	26.127
2006	1.2653	308.38	308.38	19.855	25.123
2007	1.2167	308.38	308.38	19.855	24.158
2008	1.1699	308.38	308.38	19.855	23.228
2009	1.1249	308.38	308.38	19.855	22.335
2010	1.0816	308.38	308.38	19.855	21.475
2011	1.0400	308.38	308.38	19.855	20.649
2012	1.0000	308.38	308.38	19.855	19.855
2013	0.9615	308.38	308.38	19.855	19.091
2014	0.9246	308.38	308.38	19.855	18.358
2015	0.8890	308.38	308.38	19.855	17.651

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

2016	0.8548	308.38	308.38	20.033	17.124
2017	0.8219	308.38	308.38	20.033	16.465
2018	0.7903	308.38	308.38	20.033	15.822
2019	0.7599	308.38	308.38	20.033	15.223
2020	0.7307	308.38	308.38	20.033	14.638
2021	0.7026	308.38	308.38	20.033	14.075
2022	0.6756	308.38	308.38	20.033	13.534
2023	0.6498	308.38	308.38	20.033	13.013
2024	0.6246	308.38	308.38	20.033	12.513
2025	0.6006	308.38	308.38	20.033	12.032
2026	0.5775	308.38	308.38	20.033	11.569
2027	0.5553	308.38	308.38	20.033	11.124
2028	0.5339	308.38	308.38	20.033	10.698
2029	0.5134	308.38	308.38	20.033	10.289
2030	0.4936	308.38	308.38	20.033	9.888
2031	0.4746	308.38	308.38	20.033	9.506
2032	0.4564	308.38	308.38	20.033	9.143
2033	0.4388	308.38	308.38	20.033	8.799
2034	0.4220	308.38	308.38	20.033	8.464
2035	0.4057	308.38	308.38	20.033	8.127
2036	0.3901	308.38	308.38	20.033	7.815
2037	0.3751	308.38	308.38	20.033	7.514
2038	0.3607	308.38	308.38	20.033	7.226
2039	0.3468	308.38	308.38	20.033	6.947
2040	0.3335	308.38	308.38	20.033	6.681
2041	0.3207	308.38	308.38	20.033	6.425
2042	0.3083	308.38	308.38	20.033	6.176
2043	0.2965	308.38	308.38	20.033	5.940
2044	0.2851	308.38	308.38	20.033	5.711
2045	0.2741	308.38	308.38	20.033	5.491
2046	0.2636	308.38	308.38	20.033	5.281
2047	0.2534	308.38	308.38	20.033	5.076
2048	0.2437	308.38	308.38	20.033	4.882
2049	0.2343	308.38	308.38	20.033	4.694
2050	0.2253	308.38	308.38	20.033	4.513
2051	0.2166	308.38	308.38	20.033	4.339
2052	0.2083	308.38	308.38	20.033	4.172
2053	0.2003	308.38	308.38	20.033	4.013
2054	0.1926	308.38	308.38	20.033	3.858
2055	0.1852	308.38	308.38	20.033	3.710
2056	0.1780	308.38	308.38	20.033	3.566
2057	0.1712	308.38	308.38	20.033	3.430
2058	0.1646	308.38	308.38	20.033	3.297
2059	0.1583	308.38	308.38	20.033	3.171
2060	0.1522	308.38	308.38	20.033	3.049
2061	0.1463	308.38	308.38	20.033	2.931
合計					1,238,999

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

2016	0.8548	308.38	308.38	19.855	16.972
2017	0.8219	308.38	308.38	19.855	16.319
2018	0.7903	308.38	308.38	19.855	15.681
2019	0.7599	308.38	308.38	19.855	15.088
2020	0.7307	308.38	308.38	19.855	14.508
2021	0.7026	308.38	308.38	19.855	13.950
2022	0.6756	308.38	308.38	19.855	13.414
2023	0.6498	308.38	308.38	19.855	12.898
2024	0.6246	308.38	308.38	19.855	12.401
2025	0.6006	308.38	308.38	19.855	11.925
2026	0.5775	308.38	308.38	19.855	11.466
2027	0.5553	308.38	308.38	19.855	11.025
2028	0.5339	308.38	308.38	19.855	10.601
2029	0.5134	308.38	308.38	19.855	10.194
2030	0.4936	308.38	308.38	19.855	9.800
2031	0.4746	308.38	308.38	19.855	9.424
2032	0.4564	308.38	308.38	19.855	9.062
2033	0.4388	308.38	308.38	19.855	8.712
2034	0.4220	308.38	308.38	19.855	8.374
2035	0.4057	308.38	308.38	19.855	8.055
2036	0.3901	308.38	308.38	19.855	7.745
2037	0.3751	308.38	308.38	19.855	7.448
2038	0.3607	308.38	308.38	19.855	7.162
2039	0.3468	308.38	308.38	19.855	6.886
2040	0.3335	308.38	308.38	19.855	6.622
2041	0.3207	308.38	308.38	19.855	6.367
2042	0.3083	308.38	308.38	19.855	6.121
2043	0.2965	308.38	308.38	19.855	5.887
2044	0.2851	308.38	308.38	19.855	5.661
2045	0.2741	308.38	308.38	19.855	5.442
2046	0.2636	308.38	308.38	19.855	5.234
2047	0.2534	308.38	308.38	19.855	5.031
2048	0.2437	308.38	308.38	19.855	4.839
2049	0.2343	308.38	308.38	19.855	4.652
2050	0.2253	308.38	308.38	19.855	4.473
2051	0.2166	308.38	308.38	19.855	4.301
2052	0.2083	308.38	308.38	19.855	4.136
2053	0.2003	308.38	308.38	19.855	3.977
2054	0.1926	308.38	308.38	19.855	3.824
2055	0.1852	308.38	308.38	19.855	3.677
2056	0.1780	308.38	308.38	19.855	3.534
2057	0.1712	308.38	308.38	19.855	3.399
2058	0.1646	308.38	308.38	19.855	3.268
2059	0.1583	308.38	308.38	19.855	3.143
2060	0.1522	308.38	308.38	19.855	3.022
2061	0.1463	308.38	308.38	19.855	2.906
合計					1,219,099

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分		360,110																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+I)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO2-ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術研究開発成果報告書(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月) 事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	6,046																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
V1:	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	18,502 35,073 303 684 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) 出典:人工林分密度管理図(一社)日本森林技術協会、 森林農地整備センター収穫予測表(独)森林総合研究所等	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0 0	37,005 70,147 606 1,388 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
Y:	評価期間	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D:	容積密度(t/m3) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	0.314 0.407 0.624 0.624 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 スギ 樹齢20年経 ヒノキ 樹齢20年経 広葉樹 樹齢20年経 前生広葉樹等 樹齢20年経 0 樹齢20年経 0	1.23 1.24 1.26 1.26 0 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	0.25 0.26 0.26 0.26 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
0.5:	植物中の炭素含有率																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">社会的割引率</th> <th colspan="2">スギ</th> <th colspan="2">ヒノキ</th> <th colspan="2">広葉樹</th> <th colspan="2">前生広葉樹等</th> <th rowspan="2">事業効果蓄積</th> <th rowspan="2">効果額</th> <th rowspan="2">事業効果蓄積</th> <th rowspan="2">効果額</th> </tr> <tr> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1981</td><td>3.2731</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1982</td><td>3.2434</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1983</td><td>3.1187</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1984</td><td>2.9987</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1985</td><td>2.8834</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1986</td><td>2.7725</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1987</td><td>2.6658</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1988</td><td>2.5633</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1989</td><td>2.4647</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1990</td><td>2.3699</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1991</td><td>2.2788</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1992</td><td>2.1911</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1993</td><td>2.1068</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1994</td><td>2.0258</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1995</td><td>1.9479</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1996</td><td>1.8730</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1997</td><td>1.8009</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1998</td><td>1.7311</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1999</td><td>1.6651</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2000</td><td>1.6010</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			年度	社会的割引率	スギ		ヒノキ		広葉樹		前生広葉樹等		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	1981	3.2731													1982	3.2434	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1983	3.1187	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1984	2.9987	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1985	2.8834	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1986	2.7725	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1987	2.6658	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1988	2.5633	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1989	2.4647	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1990	2.3699	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1991	2.2788	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1992	2.1911	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1993	2.1068	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1994	2.0258	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1995	1.9479	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1996	1.8730	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1997	1.8009	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1998	1.7311	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1999	1.6651	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					2000	1.6010	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94				
年度	社会的割引率	スギ			ヒノキ		広葉樹		前生広葉樹等		事業効果蓄積	効果額					事業効果蓄積	効果額																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1981	3.2731																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1982	3.2434	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1983	3.1187	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1984	2.9987	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1985	2.8834	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1986	2.7725	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1987	2.6658	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1988	2.5633	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1989	2.4647	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1990	2.3699	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1991	2.2788	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1992	2.1911	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1993	2.1068	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1994	2.0258	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1995	1.9479	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1996	1.8730	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1997	1.8009	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1998	1.7311	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1999	1.6651	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2000	1.6010	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分		360,110																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+I)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO2-ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術研究開発成果報告書(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月) 事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	6,046																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
V1:	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	265 153 91 131 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) 出典:人工林分密度管理図(一社)日本森林技術協会、 森林農地整備センター収穫予測表(独)森林総合研究所等	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0 0	530 305 181 262 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
Y:	評価期間	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
D:	容積密度(t/m3) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	0.314 0.407 0.624 0.624 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 スギ 樹齢20年経 ヒノキ 樹齢20年経 広葉樹 樹齢20年経 前生広葉樹等 樹齢20年経 0 樹齢20年経 0	1.23 1.24 1.26 1.26 0 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ 広葉樹 前生広葉樹等 0	0.25 0.26 0.26 0.26 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
0.5:	植物中の炭素含有率																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">社会的割引率</th> <th colspan="2">スギ</th> <th colspan="2">ヒノキ</th> <th colspan="2">広葉樹</th> <th colspan="2">前生広葉樹等</th> <th rowspan="2">事業効果蓄積</th> <th rowspan="2">効果額</th> <th rowspan="2">事業効果蓄積</th> <th rowspan="2">効果額</th> </tr> <tr> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> <th>事業効果蓄積</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1981</td><td>3.2731</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1982</td><td>3.2434</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1983</td><td>3.1187</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1984</td><td>2.9987</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1985</td><td>2.8834</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1986</td><td>2.7725</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1987</td><td>2.6658</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1988</td><td>2.5633</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1989</td><td>2.4647</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1990</td><td>2.3699</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1991</td><td>2.2788</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1992</td><td>2.1911</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1993</td><td>2.1068</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1994</td><td>2.0258</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1995</td><td>1.9479</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1996</td><td>1.8730</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1997</td><td>1.8009</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1998</td><td>1.7311</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1999</td><td>1.6651</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2000</td><td>1.6010</td><td>231.28</td><td>1,237</td><td>438.42</td><td>3,091</td><td>3.79</td><td>42</td><td>8.55</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			年度	社会的割引率	スギ		ヒノキ		広葉樹		前生広葉樹等		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	1981	3.2731													1982	3.2434	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1983	3.1187	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1984	2.9987	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1985	2.8834	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1986	2.7725	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1987	2.6658	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1988	2.5633	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1989	2.4647	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1990	2.3699	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1991	2.2788	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1992	2.1911	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1993	2.1068	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1994	2.0258	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1995	1.9479	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1996	1.8730	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1997	1.8009	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1998	1.7311	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					1999	1.6651	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94					2000	1.6010	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94				
年度	社会的割引率	スギ			ヒノキ		広葉樹		前生広葉樹等		事業効果蓄積	効果額					事業効果蓄積	効果額																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1981	3.2731																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1982	3.2434	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1983	3.1187	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1984	2.9987	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1985	2.8834	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1986	2.7725	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1987	2.6658	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1988	2.5633	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1989	2.4647	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1990	2.3699	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1991	2.2788	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1992	2.1911	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1993	2.1068	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1994	2.0258	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1995	1.9479	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1996	1.8730	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1997	1.8009	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1998	1.7311	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1999	1.6651	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2000	1.6010	231.28	1,237	438.42	3,091	3.79	42	8.55	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業

(20)江の川流域30～49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

Table with columns for year (2001-2061) and various metrics (1.5395, 231.28, 1.237, 438.42, 3.091, 3.79, 42, 8.55, 94). Includes a '合計' (Total) row at the bottom.

Summary table for '合計' (Total) with columns: 年度 (Year), 社会割引率 (Social Discount Rate), 効果額 (Effect Amount), 現在価値化 (Present Value). Rows for years 1981-1990.

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業

(20)江の川流域30～49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

Table with columns for year (2001-2061) and various metrics (1.5395, 231.28, 1.237, 438.42, 3.091, 3.79, 42, 8.55, 94). Includes a '合計' (Total) row at the bottom.

Summary table for '合計' (Total) with columns: 年度 (Year), 社会割引率 (Social Discount Rate), 効果額 (Effect Amount), 現在価値化 (Present Value). Rows for years 1981-1990.

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業

(20)江の川流域30～49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

1991	2,2788	4,464	10,173
1992	2,1911	4,464	9,781
1993	2,1068	4,464	9,405
1994	2,0258	4,464	9,043
1995	1,9479	4,464	8,695
1996	1,8730	4,464	8,361
1997	1,8009	4,464	8,039
1998	1,7317	4,464	7,730
1999	1,6651	4,464	7,433
2000	1,6010	4,464	7,147
2001	1,5395	4,464	6,872
2002	1,4802	4,464	6,608
2003	1,4233	4,464	6,354
2004	1,3686	4,464	6,109
2005	1,3159	4,464	5,874
2006	1,2653	4,464	5,648
2007	1,2167	4,464	5,431
2008	1,1699	4,464	5,222
2009	1,1249	4,464	5,022
2010	1,0816	4,464	4,829
2011	1,0400	4,464	4,643
2012	1,0000	4,464	4,464
2013	0,9615	4,464	4,292
2014	0,9246	4,464	4,127
2015	0,8890	4,464	3,968
2016	0,8548	4,464	3,816
2017	0,8219	4,464	3,669
2018	0,7903	4,464	3,528
2019	0,7599	4,464	3,392
2020	0,7307	4,464	3,262
2021	0,7026	4,464	3,136
2022	0,6756	4,464	3,016
2023	0,6496	4,464	2,900
2024	0,6246	4,464	2,788
2025	0,6006	4,464	2,681
2026	0,5775	4,464	2,579
2027	0,5553	4,464	2,479
2028	0,5339	4,464	2,383
2029	0,5134	4,464	2,292
2030	0,4936	4,464	2,203
2031	0,4746	4,464	2,119
2032	0,4564	4,464	2,037
2033	0,4388	4,464	1,959
2034	0,4220	4,464	1,884
2035	0,4057	4,464	1,811
2036	0,3901	4,464	1,741
2037	0,3751	4,464	1,674
2038	0,3607	4,464	1,610
2039	0,3468	4,464	1,548
2040	0,3335	4,464	1,489
2041	0,3207	4,464	1,432
2042	0,3083	4,464	1,376
2043	0,2965	4,464	1,324
2044	0,2851	4,464	1,273
2045	0,2741	4,464	1,224
2046	0,2636	4,464	1,177
2047	0,2534	4,464	1,131
2048	0,2437	4,464	1,088
2049	0,2343	4,464	1,046
2050	0,2253	4,464	1,006
2051	0,2166	4,464	967
2052	0,2083	4,464	930
2053	0,2003	4,464	894
2054	0,1926	4,464	860
2055	0,1852	4,464	827
2056	0,1780	4,464	795
2057	0,1712	4,464	764
2058	0,1646	4,464	735
2059	0,1583	4,464	707
2060	0,1522	4,464	679
2061	0,1463	4,464	653
合計			360,110

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業

(20)江の川流域30～49年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

1991	2,2788	4,464	10,173
1992	2,1911	4,464	9,781
1993	2,1068	4,464	9,405
1994	2,0258	4,464	9,043
1995	1,9479	4,464	8,695
1996	1,8730	4,464	8,361
1997	1,8009	4,464	8,039
1998	1,7317	4,464	7,730
1999	1,6651	4,464	7,433
2000	1,6010	4,464	7,147
2001	1,5395	4,464	6,872
2002	1,4802	4,464	6,608
2003	1,4233	4,464	6,354
2004	1,3686	4,464	6,109
2005	1,3159	4,464	5,874
2006	1,2653	4,464	5,648
2007	1,2167	4,464	5,431
2008	1,1699	4,464	5,222
2009	1,1249	4,464	5,022
2010	1,0816	4,464	4,829
2011	1,0400	4,464	4,643
2012	1,0000	4,464	4,464
2013	0,9615	4,464	4,292
2014	0,9246	4,464	4,127
2015	0,8890	4,464	3,968
2016	0,8548	4,464	3,816
2017	0,8219	4,464	3,669
2018	0,7903	4,464	3,528
2019	0,7599	4,464	3,392
2020	0,7307	4,464	3,262
2021	0,7026	4,464	3,136
2022	0,6756	4,464	3,016
2023	0,6496	4,464	2,900
2024	0,6246	4,464	2,788
2025	0,6006	4,464	2,681
2026	0,5775	4,464	2,579
2027	0,5553	4,464	2,479
2028	0,5339	4,464	2,383
2029	0,5134	4,464	2,292
2030	0,4936	4,464	2,203
2031	0,4746	4,464	2,119
2032	0,4564	4,464	2,037
2033	0,4388	4,464	1,959
2034	0,4220	4,464	1,884
2035	0,4057	4,464	1,811
2036	0,3901	4,464	1,741
2037	0,3751	4,464	1,674
2038	0,3607	4,464	1,610
2039	0,3468	4,464	1,548
2040	0,3335	4,464	1,489
2041	0,3207	4,464	1,432
2042	0,3083	4,464	1,376
2043	0,2965	4,464	1,324
2044	0,2851	4,464	1,273
2045	0,2741	4,464	1,224
2046	0,2636	4,464	1,177
2047	0,2534	4,464	1,131
2048	0,2437	4,464	1,088
2049	0,2343	4,464	1,046
2050	0,2253	4,464	1,006
2051	0,2166	4,464	967
2052	0,2083	4,464	930
2053	0,2003	4,464	894
2054	0,1926	4,464	860
2055	0,1852	4,464	827
2056	0,1780	4,464	795
2057	0,1712	4,464	764
2058	0,1646	4,464	735
2059	0,1583	4,464	707
2060	0,1522	4,464	679
2061	0,1463	4,464	653
合計			360,110

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

Box containing the formula B = sum(Y/(1+i)^t), evaluation period Y=80, and a detailed table of benefits from 1981 to 2025 for Sugi, Hinoki, and other tree types.

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

Box containing the formula B = sum(Y/(1+i)^t), evaluation period Y=80, and a detailed table of benefits from 1981 to 2025 for Sugi, Hinoki, and other tree types, with corrected values.

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正					誤						
地区別評価結果					地区別評価結果						
1 独立行政法人事業					1 独立行政法人事業						
水源林造成事業					水源林造成事業						
(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)					(20)江の川流域30~49年経過分(参考資料)						
木材生産等便益 生産確保・増進便益					木材生産等便益 生産確保・増進便益						
2016	0.8548			0	0	2016	0.8548			0	0
2017	0.8219			0	0	2017	0.8219			0	0
2018	0.7903			0	0	2018	0.7903			0	0
2019	0.7599			0	0	2019	0.7599			0	0
2020	0.7307			0	0	2020	0.7307			0	0
2021	0.7026			0	0	2021	0.7026			0	0
2022	0.6756			0	0	2022	0.6756			0	0
2023	0.6499			0	0	2023	0.6499			0	0
2024	0.6246			0	0	2024	0.6246			0	0
2025	0.6006			0	0	2025	0.6006			0	0
2026	0.5775			0	0	2026	0.5775			0	0
2027	0.5553			0	0	2027	0.5553			0	0
2028	0.5339			0	0	2028	0.5339			0	0
2029	0.5134			0	0	2029	0.5134			0	0
2030	0.4936			0	0	2030	0.4936			0	0
2031	0.4746			0	0	2031	0.4746			0	0
2032	0.4564			0	0	2032	0.4564			0	0
2033	0.4388			0	0	2033	0.4388			0	0
2034	0.4220			0	0	2034	0.4220			0	0
2035	0.4057			0	0	2035	0.4057			0	0
2036	0.3901			0	0	2036	0.3901			0	0
2037	0.3751			0	0	2037	0.3751			0	0
2038	0.3607			0	0	2038	0.3607			0	0
2039	0.3468			0	0	2039	0.3468			0	0
2040	0.3335			0	0	2040	0.3335			0	0
2041	0.3207			0	0	2041	0.3207			0	0
2042	0.3083			0	0	2042	0.3083			0	0
2043	0.2965			0	0	2043	0.2965			0	0
2044	0.2851			0	0	2044	0.2851			0	0
2045	0.2741			0	0	2045	0.2741			0	0
2046	0.2636			0	0	2046	0.2636			0	0
2047	0.2534			0	0	2047	0.2534			0	0
2048	0.2437			0	0	2048	0.2437			0	0
2049	0.2343			0	0	2049	0.2343			0	0
2050	0.2253			0	0	2050	0.2253			0	0
2051	0.2166			0	0	2051	0.2166			0	0
2052	0.2083			0	0	2052	0.2083			0	0
2053	0.2003			0	0	2053	0.2003			0	0
2054	0.1926			0	0	2054	0.1926			0	0
2055	0.1852			0	0	2055	0.1852			0	0
2056	0.1780			0	0	2056	0.1780			0	0
2057	0.1712			0	0	2057	0.1712			0	0
2058	0.1646			0	0	2058	0.1646			0	0
2059	0.1583			0	0	2059	0.1583			0	0
2060	0.1522			0	0	2060	0.1522			0	0
2061	0.1463			0	0	2061	0.1463			0	0
合計				349.372	31.113	合計				489.245	73.040
											73.040